

うさぎのみみ

一年せつめい文 15ばん

なまえ

うさぎのみみは、
てもながいです。どう
してこんなにながいの
でしょう。

ひとつめの一つのわけは、音をよくきくため

みみをぴんと立てま

ちいさな音^{おと}まできこえ

でも、すぐに気づけま
す。

二つ^{ふた}目の^めわけは、あ
つさをにがすため

ほとんどかきません。

らねつをにがして、か

(一)「ぴんと」のいみにあうものをひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア　くるっとまるめて
イ　ぺたんとたおして
ウ　まっすぐにのばして

(2) あついとき、うさぎはどうやってからだをひやま
すか。ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア あせをたくさんかく。

イ
み
み
か
ら
ね
つ
を
に
が
す。

ウ ひなたでねころぶ。

か。ぶんしょうからかきぬきましょう。

(3) みみをぴんと立てると、どんな音おとまできこえます

[illegible]

う。
(4) うさぎのみみがながいわけを、ふたつかきましたよ

[illegible]

かきかたのヒント

「^{ひと}一つ目のわけは」「^{ふた}二つ目のわけは」のあとを見てみよう。

「くためと、くため。」で
おわらせる。

うさぎのみみ

こたえ

1年 せつめい文

15ばん

なまえ

うさぎのみみは、とてもながいです。どうしてこんなにながいのでしょうか。

一つ目のわけは、音を

をよくきくためです。

うさぎは、ながい

みみをぴんと立てま

す。すると、とおくの

ちいさな音まできこえ

ます。てきがちかづい

ても、すぐに気づけま

す。

二つ目のわけは、あ

つさをにがすためで

す。うさぎは、あせを

ほとんどかきません。

あついときは、みみか

らねつをにがして、か

らだをひやします。

(1)「ぴんと」のいみにあうものをひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア くるっとまるめて

イ ペたんとたおして

ウ まっすぐにのばして

(2) あついとき、うさぎはどうやってからだをひやしますか。ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア あせをたくさんかく。

イ みみからねつをにがす。

ウ ひなたでねころぶ。

(3) みみをぴんと立てると、どんな音まできこえますか。ぶんしょうからかきぬきましょう。

な	と								
	お								
音	く								
	の								

(4) うさぎのみみがながいわけを、ふたつかきましよう。

(れい) 音をよくきくためと、あつさをにがすため。

かきかたのヒント

「一つ目のわけは」「二つ目のわけは」のあとを見てみよう。

「ためと、ため。」でお知らせる。

解答・解説 うさぎの みみ（1年・せつめい文）

もん 問1 ウ

みみを まっすぐ ^{うえ}上に のばして ^た立てる ようです。

もん 問2 イ

^{みつ}三つ目の ^めだんらくに「^みみから ^ねつを にがして、^かからだを ひやします」と かいて あります。

もん 問3 とおくの ^{おと}ちいさな 音

^{ふた}二つ目の ^めだんらくに「^ととおくの ^ちいさな ^{おと}音まで きこえます」と かいて あります。

もん 問4 （れい）^{おと}音を よく きく ためと、^あつさを にがす ため。

^{ふた}二つ目の ^めだんらくに「^{おと}音を よく きく ためです」、^{みつ}三つ目の ^めだんらくに「^あつさを にがす ためです」と かいて あります。ふたつとも かけて いれば ○です。